

中学部 国語科 学習指導案

日 時: 令和4年9月16日(金)

9:35~10:25

場 所: 生活単元学習棟 集会室

対 象: Dグループ 5名

授業者: 神崎 稔正 平野 令子

1 題材名 『自分の考えを伝えよう』で、伝える相手や書く目的を意識して、テーマに対する自分の考えを文章にしよう

2 題材目標

		題材目標	学習指導要領の扱う内容
H	知	内容が異なる事柄を筆者の考えが伝わるように並べ替えて構成する時、文の内容同士のつながりや事柄同士の関係がわかり、「はじめ」に話題(事実)の説明、「中」に考えとその理由、「終わり」に結論を並べる	中学部1、2段階 【知識及び技能】 イ(ア)考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。
	思	『自分の考えを伝えよう』で、話題(事実)について、読み手に自分の考えを伝えるための文を書く時、事柄同士の関係について考えて、書く内容と事柄とのつながりを判断して、「はじめ」に話題(事実)の説明、「中」に考えと理由、「終わり」に結論を書く	【思考力・判断力・表現力等】 B書くこと 1段階 イ 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
G	知	話題(事実)について筆者の考えが書いてある文を読む時、考えを伝えるための情報やその書き表し方がわかり、文の中の事柄ごとに小見出しをつけたり、読み手によって必要な情報のみを付箋に書き出したりする	2段階 イ 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えること。
	思	『自分の考えを伝えよう』で、話題(事実)について、読み手と話題との関係に応じて自分の考えを書く時、読み手と話題との関係を考え、必要な情報と伝わりやすい構成を判断し、「はじめ」に話題(事実)の説明や簡単な自分の考え、「中」に考えとその根拠となる情報、「終わり」に結論を書く	【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
全	学	言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする	


3 教材等

【国語】


まとめプリント

()月()日

したこと



わかったこと・気づいたこと



今日の話題

台風は毎年、夏や秋にかけて日本にやってきます。そして、大雨や土砂災害、高潮などの災害をおよぼすことがあります。

台風は、一年間で平均二十六個発生し、十一個が日本に接近します。

今、台風十一号が、日本に接近しています。六日の明け方には、大分県にも接近する予報です。

「そなえあれば、うれいなし」という言葉がありますが、どうそなえるとよいのでしょうか。あなたの考えを書いてください。



4 題材計画 (全8時間の5時間目) ※別紙資料にA3別紙で記載

5 題 目 『自分の考えを伝えよう』で、事柄に書く内容や事柄同士のつながりを考えたり、読み手に自分の考えが伝わるように文章を構成したりして、話題(事実)に対する自分の考えを書こう

4 題材計画

		一次	二次				三次			
生徒	時数	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8	
H	知・技	場面	事柄に含まれる文の内容を読み取る時、		/	事柄に含まれる文の内容を読み取る時、	内容が異なる事柄を並べ替えて構成する時、	/	/	
		わかること	文の内容同士のつながりに目を向け、	文の内容同士のつながりがわかり、		文の内容のまとまりがわかり、	事柄同士の関係がわかり、			
		できた姿	読み手に自分の考えを伝えるために必要な事柄や情報があり、それらの構成を考えて文を書くという課題をもつ	色分けされた例文を参考にしながら、考えにあたる内容の文を赤、理由にあたる内容の文を黄の付箋に書き出す		筆者の立場で考えにあたる文についての理由となる文を書く	それぞれの事柄に「話題」「考えとその理由」「結論」の小見出しをつける			「はじめ」に話題（事実）の説明、「中」に考えとその理由、「終わり」に結論を並べる
		配慮的に扱う内容	助詞 敬体と常体							
思・判・表	具体的状況	/	話題（事実）に対して選択肢から選んで自分の考えを書く時、		3つの事柄で構成された文を読む時、	話題（事実）に対して選択肢から選んで自分の考えを書く時、	話題（事実）について、読み手に自分の考えを伝えるための文を書く時、			
	表出像		自分の考えとその理由について考え、文同士のつながりを判断し、自分の考えとその理由を含む文を書く		文の内容について考え、内容による文のまとまりを判断し、「話題」「考えとその理由」「結論」のそれぞれにあたる文を線で囲み、小見出しをつける	事柄同士の関係について考えて、書く内容と事柄とのつながりを判断して、「はじめ」に話題（事実）の説明「中」に考えと理由、「終わり」に結論を書く				
主体的な姿	粘り強さ	<input type="checkbox"/> 教師の提示した個々のめあてを見て、本時の到達像を知り、振り返り場面で自己評価する ^導 ^終 <input type="checkbox"/> 困った時、これまでの学習プリントや『まとめプリント』を参考に課題を解決しようとする ^展 ^発								
	学習調整	<input type="checkbox"/> 新たにわかったことや気づいたことを『まとめプリント』に記入する ^展 ^発 <input type="checkbox"/> 友だちからのアドバイスを受け、自分の文を改善しようとする ^発 <input type="checkbox"/> 友だちの書いた文を読み、よいところや改善点を伝えようとする ^発				<input type="checkbox"/> 自分の書いた文を読み返し、文のつながりを確かめたり、修正したりする ^発 <input type="checkbox"/> 書いた文を読み返し、考えが相手に伝わるように文を再構成しようとする ^発				
G	知・技	場面	話題（事実）に対する筆者の考えが書いてある		/	自分が知っている話題（事実）について筆者の考えが書いてある文の内容を読み取る時、	/	/		
		わかること	文の事柄の内容を読み取る時、	文から構成の仕方を読み取る時、		読み手が知りたい情報がわかり、				
		できた姿	考えを表す文と根拠を表す文のつながりに目を向け、	考えを表す文と根拠を表す文のつながりがわかり、		内容ごとの文のまとまりとそれぞれの関係がわかり、			必要な情報のみを付箋に書き出す	
		配慮的に扱う内容	読み手に自分の考えを伝えるために必要な事柄や情報があり、それらの構成を考えて文を書くという課題をもつ	色分けされた例文を参考にしながら、書かれている内容の考えは赤、根拠となる情報は緑の付箋に書き出す		考えと根拠のそれぞれにあたる文を線で囲んで2つを線で結ぶ			それぞれの事柄のはじめに「話題」「考え」「根拠」のそれぞれにあたる文を線で囲み、小見出しをつける	
思・判・表	具体的状況	/	話題（事実）に対して選択肢から選んで自分の考えを書く時、		話題（事実）について自分の考えを書く時、	読み手と話題（事実）との関係に応じて、書き手の考えが書いてある文の内容を見直す時、	話題（事実）について、読み手と話題との関係に応じて自分の考えを書く時、			
	表出像		書く内容を考え、必要な情報を判断して、話題（事実）に対する自分の考えと根拠を書く		事柄同士の関係について考え、書く内容と事柄とのつながりを判断して、「はじめ」に話題（事実）の説明、「中」に考えと根拠、「終わり」に結論を書く	読み手と話題（事実）の関係について考え、必要な情報を判断し、情報を加えたり、減らしたりする	読み手と話題（事実）との関係を考え、必要な情報と伝わりやすい構成を判断し、「はじめ」に話題（事実）の説明や簡単な自分の考え、「中」に考えとその根拠となる情報、「終わり」に結論を書く			
主体的な姿	粘り強さ	<input type="checkbox"/> 教師の提示した個々のめあてを見て、本時の到達像を知り、振り返り場面で自己評価する ^導 ^終 <input type="checkbox"/> 困った時、これまでの学習プリントや『まとめプリント』を参考に課題を解決しようとする ^展 ^発								
	学習調整	<input type="checkbox"/> 話題（事実）の内容や問われ方が変わっても、学習した内容を生かして事柄から内容や書き表し方を決めて文を構成しようとする ^展 ^発 <input type="checkbox"/> 新たにわかったことや気づいたことを『まとめプリント』に記入する ^展 ^発 <input type="checkbox"/> 友だちからのアドバイスを受け、自分の文を改善しようとする ^発 <input type="checkbox"/> 友だちの書いた文を読み、よいところや改善点を伝えようとする ^発				<input type="checkbox"/> 自分の書いた文を読み返し、文のつながりを確かめたり、修正したりする ^発 <input type="checkbox"/> 書いた文を読み返し、考えが相手に伝わるように文を再構成しようとする ^発				